

S.P.V. つうしん

郡山市ふれあい科学館 スペースパークボランティアの会 会誌

第 62 号 2020 年（令和 2 年）2 月 発行

福島県郡山駅前 2-11-1 郡山ふれあい科学館内 TEL 024-963-0201



★最近の出張活動

1. 大島地域公民館「親子 夏の星空観察会」 (2019 年 8 月 9 日 天文グループ)

当日午後は晴れていましたが、夕方に雲が空を覆いだし、月の輪郭が少し覗ける程度しか観察できませんでした。そこで「曇りメニュー」の登場です。まず「星座早見盤」。上手く折り目を嵌められない子はサポートし、無事に全員完成しました。続いて捧さんお手製の「惑星模型」。地球と太陽の大きさの比較に驚きの声が上がります。さらに「星の一生について」。ライトをだんだん明るくして行って最後に爆発して消滅することや、宇宙では空気が無いので爆発の音が聞こえないことなど、子どもたちも実験台の前で慎重に興味深く見守りました。続けて滝田さん「夏の星座と子供たちの知っている星座」、齋藤さん「夏の大三角の観察」「オーストラリアの皆既日食」などなど、望遠鏡の観望はできませんでしたが、模型や実験、映像など充実した内容でした。（天文グループ 渡邊喜作）

2. 安子ヶ島小学校「安子ヶ島こども教室」出張観望会 (2019 年 8 月 18 日 天文グループ)

昨年の火星大接近に続き、今期は夏の星座と太陽系をテーマに野外学習の一環で行いました。まず夏の大三角、こと座、わし座など夏の星座、そして北斗七星、北極星、カシオペア座のWの形、続いて木星、土星、二重星のアルビレオとミザール、球状星団の M13 を観察。この日は雲が多少流れてましたが、木星の縞模様やガリレオ衛星、土星の輪までははっきりと認識できました。奇しくも、人工衛星を2種類観察できました。続いて室内で模型を使い木星や土星、太陽について学び直し、超新星の爆発実験を行いました。（天文グループ・星空案内人 渡辺哲夫）

ちょこっと知識「球状星団」
多数の恒星がボール状にかたまった星団。M13 はヘラクレス座で北天一明るいといわれている。



3. ハイテクプラザ公開イベント (2019 年 9 月 8 日 科学グループ)

福島県ハイテクプラザの一般公開イベント「あつまれっ！ハイテクプラザ2019」に出展しました。実験や実演、ものづくり体験などができるイベントで、科学グループは「ホバークラフト」のワークショップを行いました。発泡スチロール製のトレイとビニール袋、おもりでホバークラフトを作り、出来上がりと同時にその場で動かします。水上ではなく地上を走るというのもポイント。ハイテクプラザの広いフロアを滑るように航行する姿に大きく盛り上がり、親子が向い合いエアホッケーの様にラリーが続く様子も見られ、親子の絆もつくりました。（科学グループ 熊谷晃）

ちょこっと知識
「ホバークラフト」
下のエアークッションに空気を送り込み浮いた状態でプロペラなどで推進する。摩擦が少なく高速移動が可能だが、メンテが大変、波に弱いなどで姿を消しつつある。写真はかつての大分空港アクセス便



4. 石筵ふれあい牧場「水ロケット製作打上会」(2019年10月19日天文グループ)

私の娘が子どもの頃は部品を全部手作りしていましたが、今回はヘッド・羽根等がキット化されており、幼稚園のお子さんも見事に作れました。小さな子どもが多く、カッターナイフの取り扱いに気を付ける必要がありました。切るときはもちろん、説明の最中にカッターが珍しくていじってる低学年の子に注意を促したり。ボランティアでいつも思うのは、子ども一人一人で性格や興味が違うからこそ面白い。それぞれに合う対応をしたいところです。まだ幼いけれど自分でやりたい子には手を添えるだけ、テキパキと仕上げた子には「羽根の調整は？」など追加の作業をさせる、高学年には失敗についてどこが悪かったかを考えさせたり。個性豊かなロケットは飛び方もいろいろ！夢中な姿が印象的でした。ひょっとすると、いつか本物のロケットに関わる大人も出てくるのでしょうか。(天文グループ 瀧田祐子)



★新会員の声

昆茉莉花さん(科学グループ) 私は子どもの頃ふれあい科学館に家族と訪れてくる度に楽しんでいました。昔の自分のように、ふれあい科学館に来て「楽しい！」と言ってくれる子どもたちが一人でも多くなってくれればと考え、入会しました。工作を通じて科学の楽しさ・面白さを知ってもらい、さらに親子や友達同士で共通の思い出を作れる手助けをしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

鈴木峯雄さん(科学グループ) 科学館には公民館の館外研修で子どもたちと、また孫が帰郷した際に来ておりました。皆さんが楽しく活動されている姿や、来館者の楽しく輝く表情に、このような時間を共有できたら楽しいだろうな、仲良く楽しくそしてお役に立てればいいなと思い、退職を機に入会しました。工作活動等を通じ、物を作る面白さや楽しさ、達成感、そして思い出作りの一助となり、楽しい時間を共有できればと思います。「楽しさ」「来館者にまた来館しようといわれるよう」を目標に、自らは感激と感謝の気持ちをもって活動したいと思います。

横田ふじ子(案内グループ) これからの人生で自分の思いで作りと一人でも良いから心に残る紙芝居や本の読み聞かせができるようになりたい、そして案内の勉強をしたい事から入りました。私は、人と会話をしたり、1つのものを集まって作りあげたりする事が好きです。それが達成した時は、とてもうれしいです。初めての事なので、とても不安な気持ちもありますが、楽しみや希望があります。みなさまには案内の役割・活動についてご指導を承りたいと思っています。

影山和子(案内グループ) 若い頃より語り部・読み聞かせ等に関心があり、いつかきつと胸に秘めておりましたところ、科学館での案内ボランティア募集に出会いました。案内グループの活動の場の23階からは四方八方の景色を見渡すことができます。小さな悩みなど、たちまち吹き飛ばしてしまう程の雄大さは、大きな魅力と言えます。磐梯山・安達太良山・阿武隈川の大自然。それに包まれているような街並み・点在する緑。「郡山って素晴らしい」と自信を持って言える喜びを感じます。

S. P. V. (Space-Park Volunteer): 郡山駅前・ビッグアイにある科学館「スペースパーク」を拠点に活動する市民たちによるボランティア会です。高校生から80代まで、約90名の会員が案内・科学・天文の3グループに分かれ、科学館内のほか郡山市内各地の公民館や小学校、イベントへの出展、星空観望会などを精力的に企画・運営・参加しています。まちづくりハーモニー賞受賞団体、星のソムリエ多数在籍。新会員は常時募集中です。ふれあい科学館 info@space-park.jp へお気軽にご連絡ください！